

みだい



みだい寮施設長 篠原 宏

日々寒さを増し本格的な冬を迎えています。

昨年の今頃は新型コロナウイルス感染症の対応で、戦々恐々として気の休まらない毎日を過ごしていました。今年度は2類から5類になったこともあり、日課などがコロナ前の生活に戻りつつあります。旅行も6班に分かれ行うことができ、数年ぶりの全体での宴会もあり利用者さんたちも楽しそうでした。まだまだ感染症の心配もありますが、この「当たり前の毎日」をこのまま過ごしていければと思います。



メリークリスマス!



くす玉の中にはプレゼントが...♡

クリスマス会

コロナの中でも楽しめる旅行を… 旅行再開！

支援1課 間々瀬 遥 香

まだまだ猛威を振るっているコロナウイルスですが、令和5年5月より5類へと移行しました。感染状況や医務と相談しながら今年は日帰り旅行から再開する事になりました。職員も利用者さんも旅行に行った事の無い方が増えてきました。

久しぶりの旅行再開で、私自身「やっと皆で旅行に行ける！」と思う反面、利用者さんの体調面や体力面が心配でした。3年前の書類や写真を引っ張り出し、インターネットで利用者さんが楽しめる場所を探す。道や距離が負担にならないか、トイレや休憩所はどこにあるのか。利用者さんの行きたい所を聞いたり、職員や医務と話し合いを何度も重ねました。マスク着用・食事は換気の良い所等制約がある中での旅行でした。

久しぶりの旅行で掲示物を貼り出すと、皆さん自分の名前がどこにあるのか、どこに行くのかと見入っていました。

その後すぐに旅行の話で持ち切りになりました。

「旅行楽しみだね」「水族館？」「お風呂に入りたいな」と笑顔で職員と話しをする姿がたくさん見られました。旅行当日は利用者の皆さんで食事も見学もお土産購入もとても笑顔で満喫していました。普段、寮では見られない表情や行動も見られ、旅行中私も「これこれ。この感覚！」と3年振りの旅行を利用者さんと一緒に楽しみました。

5類に移行したとは言え、コロナが無くなった訳でも特効薬が出来た訳でもありません。以前のような県外への泊旅行を再開するにはまだ時間がかかるかと思えます。正直、制約がある中での計画や段取り、お店の確認の電話等大変ではなかったと言えば嘘になります。それでも今回の旅行で利用者さんが楽しんでくれ「連れてってくれてありがとう」「また来年も行きたい」「次は泊りで」と言葉を貰い、日帰りではありませんが計画し行けて良かったと思えます。この達成感は旅行の係ならではの感覚だと思えます。旅行に限らず、色々な日課や行事が再開に向けて動きだせるよう感染症対策を行いながら、利用者さんが以前のような生活ができる環境を作っていきたいと思えます。

食べ
きれないなあ～



熱唱中



納涼会を振り返って

支援1課 沢 登 祐 樹

令和5年9月4日、利用者さん69名、職員29名、総勢98名で石和温泉旅館、喜仙に外出し納涼会を実施しました。コロナウイルスの流行により、施設全体での外出は約5年ぶりの実施となりました。

利用者の皆さんは、久しぶりの全体外出をととても楽しみにしており、当日は宴会で美味しいご馳走を沢山食べたり、食後はカラオケでのど自慢大会を楽しむなど、利用者さんひとりひとりの豊かな表情と笑顔がたくさん見ることができ、とても嬉しく思いました。

近年はコロナウイルスの流行により行事の中止、または各寮ごとに分かれて行事を実施するなど、規模を縮小しての実施が大半でした。今回の納涼会では1寮、2寮、東棟の利用者さん、職員、それぞれが寮の垣根を越えて触れ合い、交流することができ、みだい寮全体で一体となって行事を開催することの素晴らしさを改めて感じる事ができました。

みだい寮に入職し、全体外出が初めての経験となった職員も多く、普段、施設の生活の中だけでは見られないような利用者さんの表情や仕草、行動から多くの気づきや学びがあったとの感想を聞くことができ、とても意義のある全体外出になったと感じています。

行事のハイライト☆

開所記念



みだい寮 36年目
お祝いをしました

納涼祭



どれに
しようかな♪

秋祭り



出店で買い物♪

秋のレクリエーション



的をねらって…☆



利用者さんの日常の様子



さつまいぶを植える
準備をしました♪



納涼祭の
準備！
花火を
描きました

壁面にして飾りました



令和6年 1～6月の行事予定



紅葉を見に行きました！！

1月 利用者新年会

4月 お花見

2月 節分

5月 障害者スポーツ大会

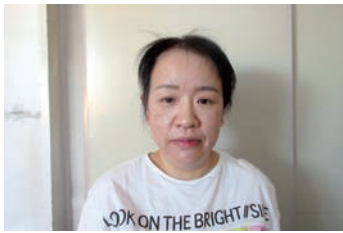
3月 利用者お楽しみ会

6月 支援協会交流スポー

歩き疲れて、ひとやすみ・・・

【**退任・退職職員**】 中澤 直→退職

【**新任職員挨拶**】



石塚 とも子

千里の行も足下に始まる（千里の道も一歩から）
ローマは一日にして成らず
塵積もりて山となる
蟻の塔を組む如し
の言葉のように、利用者さんの食事を提供していきたいと思ひます。



川口 貴史

みだい寮に来てから、利用者さんとのちょっとしたコミュニケーションが楽しくて、毎日の仕事の励みになっています。
皆様に喜んでもらえるような食事が提供できるよう、努力してまいります。
よろしくお祈ひします。

故高田澄子さんご家族より
ご寄付をいただきました。
車椅子車輛を購入させていただきました。



令和5年7月～令和5年12月までの苦情解決

苦情解決は1件ありました。内容は下記の通りです。

- ・申出日 令和5年8月25日
- ・申出人 グループホーム利用者さん
- ・苦情内容 グループホーム利用者支援及び、環境に関する苦情
- ・状況 改善に向けて取り組んでいるため、グループホーム利用者さんからも良い評価を頂きました。

みだい第72号 編集後記

今年度は、利用者の皆さんが心待ちにしていた旅行が実施出来ました。その様子を写真でお伝え出来ればと掲載いたしました。9月には全利用者さん、職員で「納涼会」として外出をしました。多彩な行事とともに、利用者さんの笑顔あふれる一年となりました。

次期も引き続き、利用者の皆さんが「楽しかった！」と感じてもらえるような活動が提供出来るよう、職員一同努力を続けて参ります。

編集後記 青島・沢登